

五峡の子

学校だより 3月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和3年3月1日(月)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

伝えあう心

校長 出井 玲子



「啓蟄」春の気配を感じる季節となりました。

休校中だった、今年度4月号の学校だよりには、「『紫陽花』が開花する頃、子供たちが帰ってくることを待っています。」と書きました。あれから1年、様々な心配を乗り越えて、教育活動を進めることができましたことは、保護者、地域の皆様のご協力があったからこそでした。改めまして御礼申し上げます。

さて、学校では、2月26日(金)に「6年生を送る会」を行いました。一堂に会しての実施はできませんでしたが、予め映像にした学年毎の出し物を動画で配信し、6年生へのお礼の気持ちを力一杯表しました。対する6年生からのお返しと後輩へのメッセージは、感謝と誇り、そして、励ましに満ちていました。私は、「6年生を送る会」は「子供たちがつくる卒業式」だと話しています。学校全体で集まる行事が少なかった今年、互いの思いを伝えあう素敵な時間を、子供たちはいつまでも忘れないと思います。

先日JR田端駅で、駅員さんから近くの都立病院の医療従事者の方へのメッセージと、それに対する病院の医療従事者の方からのお礼のメッセージが書かれた掲示板を見て心を熱くしました。

医療従事者の皆さんへ (JR田端駅より)

命がけで命を守ってくださっている
皆さんに心から感謝します。

皆様のお姿に、
ただただ「感謝」の気持ちで
いっぱいです。



メッセージをくださった皆さんへ (都立病院より)

温かいメッセージありがとうございます。
勇気が出ました。

朝早くから鉄道の運転
ありがとうございます。
元気の源ずっと忘れません！

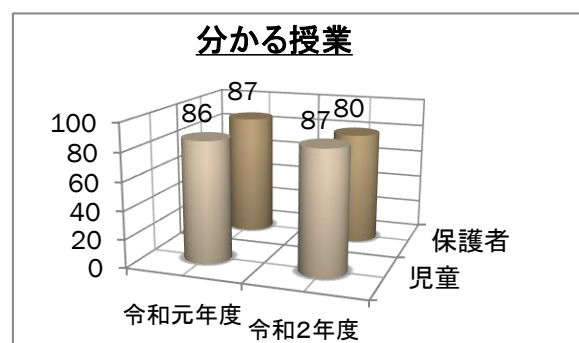
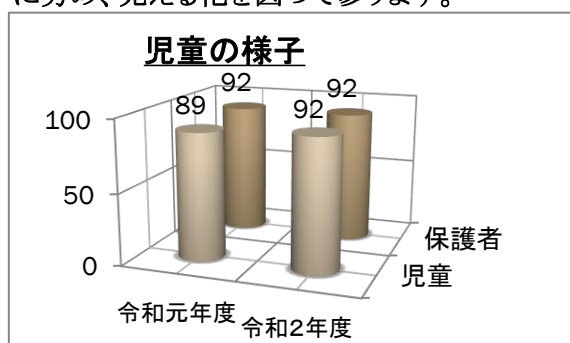
大変なときを乗り越え、お互いを思いやり、寄り添うメッセージに6年生と在校生の姿が重なりました。

学校の最大の行事である卒業式は、子供たちにとって小学校生活を締めくくる思い出に残る日にできるよう力を尽くして参ります。今年度もご来賓の皆様、地域の皆様にお越しいただくことはできませんが、子供たちの門出を見守っていただけましたら幸いです。本年度も大変お世話になりました。

＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝《※》＝

「学校評価アンケート」の結果より

「児童生徒の様子」(明るく生き生きとした楽しい学校生活)、「分かる授業」(分かる授業の展開)は両者とも、昨年度とほぼ同様でした。学校行事の映像配信には一定の評価をいただきましたが、「人権教育」や「自治的な活動」等については、「よく分からない」という回答が昨年度より多くありました。活動の充実とともに、状況のお示しに努め、見える化を図って参ります。



3月の行事予定

1	月	全校朝会 保健指導
2	火	
3	水	6年卒業を感謝する会
4	木	5・6年委員会活動
5	金	
6	土	土曜授業日
7	日	
8	月	全校朝会
9	火	安全指導
10	水	お誕生日集会(zoom)
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	春分の日
21	日	
22	月	全校朝会 1～5年4時間授業 6年卒業式予行
23	火	4時間授業 給食終
24	水	卒業式
25	木	修了式 4時間授業
26	金	春休み始(4月5日まで)

3月の生活指導

3月の生活目標「1年間のまとめをしよう」

1年のまとめの月になりました。学習のまとめをしっかりとするとともに、身のまわりや教室の掃除をきちんとすすめます。

1年間、新型コロナウイルス感染症予防にご協力いただきありがとうございます。今後もマスクや手洗いを徹底し、健康と安全に注意しながら生活しましょう。

※※※※※ お 願 い ※※※※※

児童がSNSを長時間利用したり、動画サイトを自由に閲覧したりすることによる心配が増えています。利用する時間を決め、児童の生活リズムが乱れることがないようにご協力ください。

生活指導

各種表彰の紹介

荒川区を含む公共機関、財団法人等の主催によるコンクールなどの選考で、表彰された児童を紹介します。

- 「荒川区読書感想文コンクール」
荒川区代表 6年1組 児童 1名
- 「荒川区環境区民大賞」
ポストカード部門 大賞 4年3組 児童 1名
- 「『トラックの日』児童絵画作品コンテスト」
佳作 3年2組 児童 1名
- 「図書館を使った調べる学習コンクール」
全国佳作 荒川区奨励賞 2年2組 児童 1名
- 「柳田邦男絵本大賞」
佳作 2年2組 児童 1名

6年生を送る会

今年度の『6年生を送る会』は、Zoomを用いたリモート開催となりました。今日のために各学年で、6年生の卒業をお祝いする出し物を考えて動画に収めておきました。5年生の代表委員がZoomで司会を務め、各クラスでお祝いの動画を視聴しました。各学年の工夫を凝らした内容の動画に、6年生はとても嬉しそうでした。6年生からも、下級生へのお礼の動画が贈られました。さすが6年生、迫力のあるソーラン節や器楽演奏を披露してくれました。

最後は五峡小の伝統『希望の鍵』も、無事引き継がれました。今年度は体育館に集まることはできませんでしたが、心温まる会となりました。



特別活動部

各学年の出来事

～2年生～

「作って ためして」

生活科の「作って ためして」の学習では、自分たちで「動くおもちゃ」を作りました。学校の取り組みとしてSDGsの学習をしていたこともあり、子供たちは、おもちゃの材料は購入せず、身の回りの普段廃棄してしまう「廃材や図工の学習で出た画用紙の切れ端などが使えそう。」と考えました。各ご家庭で集めていただいた卵のパックやお菓子の箱、トイレトペーパーの芯などを使い、子供たちは試行錯誤しながら夢中になっておもちゃを作りました。「これはまだ使える!」「ここを切れば、使えそう!」とつぶやきながら、工夫を重ねたことで、廃材が動くおもちゃに変わっていく様子を、楽しみました。この学習を通し、消費者としてのSDGsに貢献する体験もできました。

2年担任

～6年生～

「プログラミングを体験してみよう」

理科の「私たちの生活と電気」の学習で、身の回りの電気製品の多くは、コンピュータを使って、電気を効率よく利用していることを学びました。そして、コンピュータは人の指示で動き、この指示をつくることをプログラミングということも体験的に学びました。

そこで、学習したことをもとに、タブレットや明るさと温度のセンサーを使ってプログラミングに取り組みました。

身の回りのプログラミングを利用した機器についての理解を深めることができました。

6年担任